

1. 科目名 (単位数)	異文化接触と文化学習 (2単位)		3. 科目番号	
2. 授業担当教員	阿部 裕子			
4. 授業形態	講義、ペアワーク、グループディスカッション	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	文化に関する科目とあわせて履修することが望ましい。			
7. 講義概要	<p>文化とはなにかという定義は多様で複雑であるが、世界には多くの文化が存在している。人間の考えや行動は自分が所属している文化の中で時間をかけて形成されるため、自分のもつ考えや行動があまりに自然であり、そのことに無意識になりがちである。このため、他文化やその中に生きる人間行動を理解するためには、文化学習が重要となってくる。</p> <p>本講義では、日常生活におけるさまざまな文化的側面に触れながら、人はどのように文化を獲得し文化的行動を身につけていくのか考察していく。現代は異文化接触場面も多様化しているため、身近に存在している異文化を事例として扱いながら、異文化理解につなげる基礎的な学習を目的とする。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 幅広い文化の概念について知識を深めることができる。 身近に存在している異文化の影響について認識を新たにすることができる。 文化の獲得や文化学習のプロセスを理解することができるようになる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習をしておく。 講義ノート提出する。講義ノートとは、講義内容や理解した内容、疑問などについて、講義毎に自分の言葉・表現でまとめたノートを意味する。第7回、第12回の授業開始時に提出する。 具体的な異文化接触場面を設定し、接触時の感情や行動について分析、考察したレポートを提出する。詳細については、講義内で指示する。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 資料は適宜講義で配付する。</p> <p>【参考書】 講義内で適宜紹介する。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準(学習目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 幅広い文化の概念について知識を深めることができたか。 身近に存在している異文化の影響について認識を新たにすることができたか。 文化の獲得や文化学習のプロセスを理解することができたか。 <p>○評定の方法 以下の点を総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業態度 総合点の30%：積極的な参加、課題の提出状況などにより評価。 グループ・ワーク 総合点の30%：共同作業での発言、役割貢献などにより評価。 試験・レポート 総合点の40%：基礎知識の理解、自身の意見の表出の程度により評価。 <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>授業は事前学習を前提に行うため、必ず事前学習課題に取り組んで授業に臨むこと。配付資料は熟読し、授業に持参すること。異なる文化、多様な文化に興味を持っていることが望ましい。日常生活や身近な出来事の中にある異文化接触と関連付けながら受講すること。講義内容を積極的に聴き、必要に応じて自身が振り返る際に理解できる言葉・表現でメモすること。自身の意見や考えについて積極的に発信していくこと。</p>			
13. オフィスアワー	初回の講義内で通知する。 授業担当教員メールアドレス：hiabe@ed.tokyo-fukushi.ac.jp			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	イントロダクション：授業の概要、授業の進め方	事前学習	シラバスを確認し、扱うテーマ内容について把握しておく。	
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方や講義ノートの作成について整理しておく。	
第2回	文化の概念	事前学習	“文化”とはなにかについて、自分なりの考えをまとめておく。	
		事後学習	講義内容を振り返り、文化の多様な概念について、講義ノートに整理しておく。	
第3回	文化の獲得	事前学習	自身の子どもの時代と現在の自分のコミュニケーションを比較し、違いについて分析しておく。	
		事後学習	講義内容を振り返り、言語の獲得と言語コミュニケーションについて整理し、講義ノートにまとめておく。	
第4回	在住外国人との異文化接触	事前学習	自身の出身地で外国人と接したときの経験を振り返っておく。	
		事後学習	講義内容を振り返り、ホストとして異文化接触するとはどういうことか講義ノートに整理しておく。	

第5回	旅行先での異文化接触：日本での場面	事前学習	自身の旅行経験について思い出を振り返っておく。
		事後学習	講義内容を参考に自文化とはなにかを分析し、講義ノートにまとめておく。
第6回	旅行先での異文化接触：海外での場面	事前学習	海外旅行でのトラブルについて見聞きしたことを振り返っておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、海外でのトラブルについて講義ノートに整理しておく。
第7回	留学生の異文化接触：学校場面	事前学習	留学生にとって、学校での困難とはなにか見聞きしたことを振り返っておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、留学生のライフスタイルについて講義ノートに整理しておく。
第8回	留学生の異文化接触：日常生活	事前学習	留学生にとって、学校や地域、友人など人間関係のトラブルについて見聞きしたことを振り返っておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、留学生の対人ネットワークやゲストとして異文化接触するとはどういうことか、講義ノートにまとめておく。
第9回	海外赴任の異文化接触	事前学習	海外で働くうえでの困難とはなにか、見聞きしたことを振り返っておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、滞在目的による異文化接触の特徴について講義ノートに整理しておく。
第10回	リエントリーと文化学習	事前学習	海外で生活していた人が、もとの環境に戻ったときの影響について自分なりに考えておく。
		事後学習	講義を振り返り、リエントリー・ショックの影響について講義ノートにまとめておく。
第11回	文化学習のプロセス	事前学習	自身の文化とはなにか、自身が所属する文化の特徴について振り返っておく。
		事後学習	自身の行動の中にもどのような文化的特徴が表れているか分析し、講義ノートにまとめておく。
第12回	メディアを通じた異文化接触と文化学習	事前学習	海外のドラマや海外ニュースから当該地域に対してどのようなイメージをもつか振り返っておく。
		事後学習	講義内容を振り返り、メディアの影響について整理しておく。
第13回	異文化受容	事前学習	既習内容を復習し、自身の文化の見かたについて分析しておく。
		事後学習	文化の受容や適応について自身の傾向を分析しておく。
第14回	異文化摩擦の要因	事前学習	文化が異なるとどのようなことが起こるか自身の経験を振り返っておく。
		事後学習	文化摩擦について講義内容を振り返り、摩擦の原因となり得る要因を振り返っておく。
第15回	総括：既習内容の振り返り、重要ポイントのまとめ	事前学習	既習内容について総復習し、不明な点がないか確認しておく。
		事後学習	ノートや資料を整理し、レポートを作成する。